

2022年10月28日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～有限会社ヤシマのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、有限会社ヤシマ（代表取締役 前田 英樹）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 融資金額 50百万円
2. モニタリング期間 5年
3. 資金用途 事業資金
4. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

5. 有限会社ヤシマの概要

代 表 者	前田 英樹
本社所在地	愛知県岡崎市上地二丁目 17 番地 10
業 種	ビルメンテナンス業
創 業 年	1973 年

<記念盾贈呈式の様子>



株式会社名古屋銀行
岡崎南支店長 牧原 博志

有限会社ヤシマ
代表取締役 前田 英樹氏

※写真撮影時のみマスクを外しております。

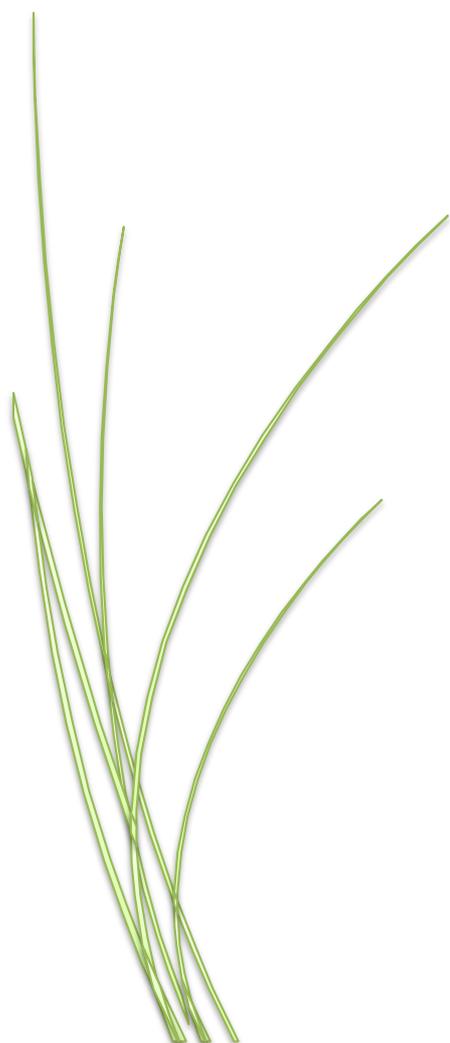
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以 上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～有限会社ヤシマ～



2022年9月30日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、有限会社ヤシマに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、有限会社ヤシマの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	有限会社ヤシマ
所在地	愛知県岡崎市上地二丁目 17 番地 10
従業員	29 人
売上高	180 百万円
事業内容	ビルメンテナンス業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	設備資金
融資・モニタリング期間	融資期間 20 年、モニタリング 5 年



目次

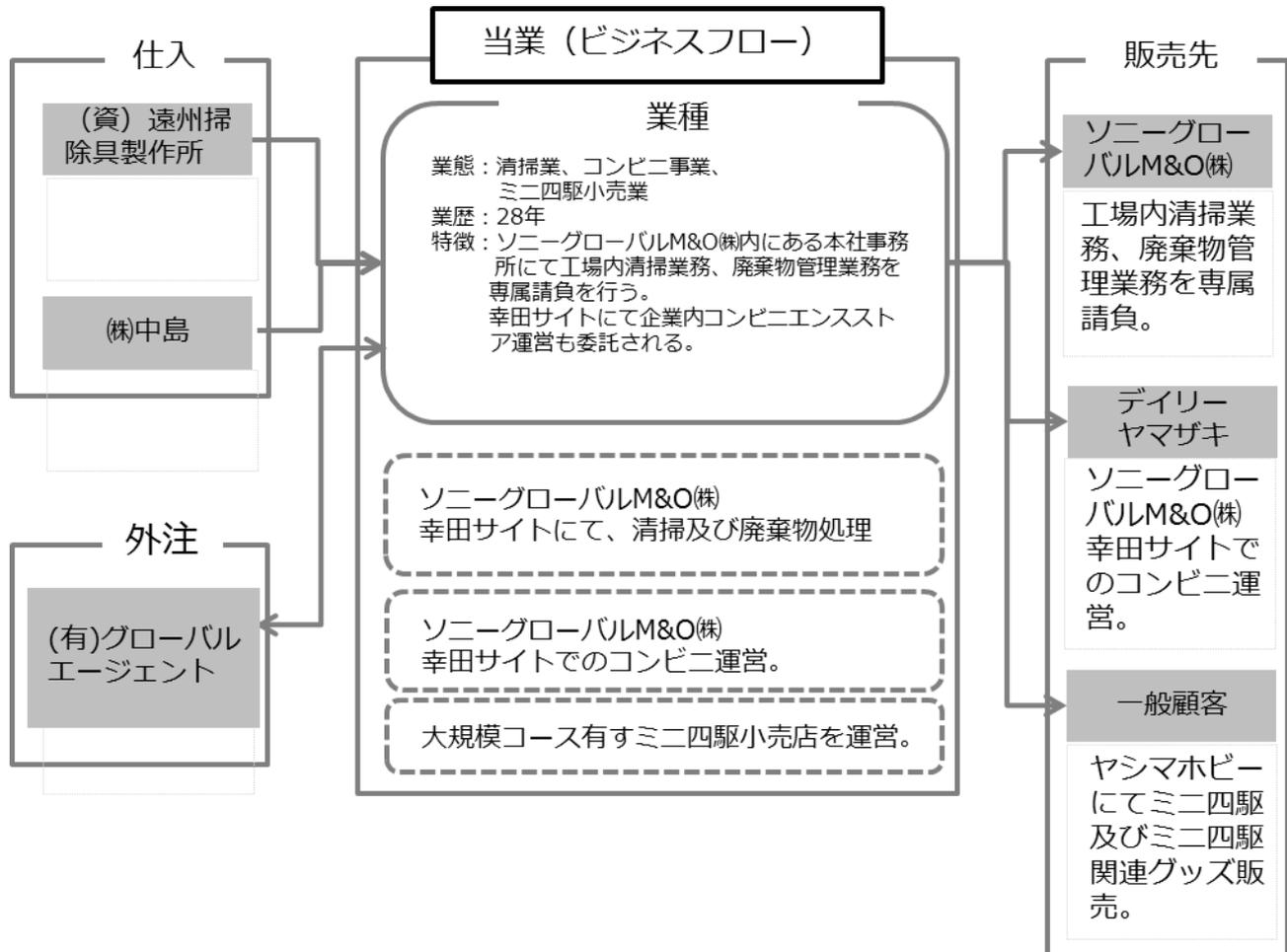
1. 企業情報
①会社概要	
②ビジネスモデル	
③社訓・企業理念	
2. 事業内容
①清掃サービス事業	
②消臭サービス事業	
③模型販売事業（ヤシマホビー）	
3. その他の活動
4. インパクトの特定
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
④海外のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制
7. モニタリング方法
8. 総括

1. 企業情報

①会社概要

会社名	有限会社ヤシマ
創業年	1973 年
資本金	3 百万円
代表者	前田 英樹
決算日	2 月 28 日
従業員数	29 人
本社所在地	愛知県岡崎市上地二丁目 17 番地 10
事業内容	①ビルメンテナンス事業 ②模型販売事業
営業所	愛知県岡崎市上地二丁目 17 番地 10

②ビジネスモデル



当社は1973年に創業し、旧ソニーイーエムシーエス(株) (現ソニーグローバルM&O(株)) の日常清掃、定期清掃、廃棄物管理を専属で行ってきた。その一方で、ビル内でのコンビニ運営も担うようになった。創業以来、ビル清掃業に従事し、ノウハウを蓄積してきた当社は、ソニーグローバルM&O(株)に加えて、様々な場面で活用する為、販売範囲拡大を図っている。

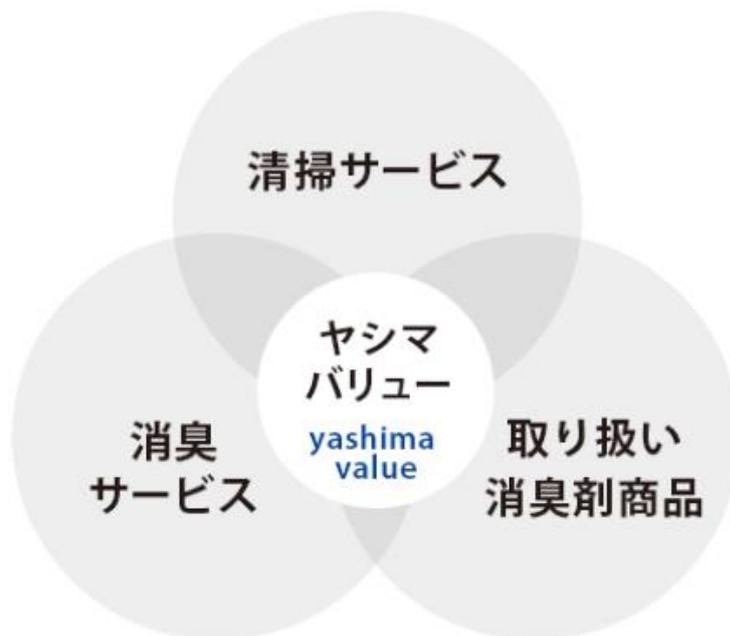
また、大規模なコースを設置したミニ四駆販売も実施。定期的な大会も運営している。グッズ等を一般顧客に販売する傍らで、他県から遊技場へ足を運ぶ顧客もおり、交流の場を提供している。

③基本理念

当社の基本理念は、「人と人との繋がりから生まれる信頼関係を大切にすること」としており、目指す新しい価値は、専門性とスキルを持ち合わせた業者同士がネットワークを作り、素早い対応とサービス、レスポンスの早さで大企業に負けないものを提供することであると位置付けている。

自社の身軽さを利点の1つと捉え、価格を抑えられることや臨時のチームを結成し、ニーズにいち早く対応する。

自社の究極の目標を、良い状態を保つ『秩序を形成する』こととし、顧客のビジネスの成功を後ろから支えていく強い清掃業者になっていくことを理想像としている。



当社は自社のサービスを「ヤシマバリュー」として形態化し、自社従業員及び顧客へ展開している。『清掃サービス・消臭サービス・取り扱い消臭剤商品』を三本柱のサービスとし、清掃作業プラス消臭作業で「空間も清潔にプロデュースします」をスローガンとして掲げている。オールマイティに対応できる業者になることを目標として、顧客のニーズに応えられるよう従業員一人一人が意識しながら業務に従事している。

当社の主業種である清掃業は、顧客の就業環境改善と健康維持に大きな役割を担っている。顧客の企業としての価値向上に加えそこで働く従業員においても快適な環境を提供することで、健全な社会活動の維持に貢献している。

2. 事業内容

当社は、1973年ソニーグローバル M&O(株)幸田サイトの工場内にて設立。ソニーグローバル M&O(株)幸田サイトの工場内清掃業務、廃棄物管理業務を請け負ってきた。加えて、企業内コンビニを運営している。

上記の企業内清掃やコンビニ運営に加え、近年は、地域貢献の側面も踏まえて、大規模コースを有するミニ四駆小売店兼レース場を経営。地元だけでなく他県からも人が集う憩いの場として提供している。

本業であるビルメンテナンス、清掃業については、従来のソニーグローバル M&O(株)幸田サイトの工場内清掃に加え、当社の清掃ノウハウを活かしたビジネス展開をすることで、幅広く顧客獲得をしながら事業拡大を図っている。

①清掃サービス事業

当社のメイン業種である清掃業については、50年弱に亘るビルメンテナンスのノウハウを活かしてオフィスやビル全体の清掃、床やガラス清掃を手掛ける。従業員の清掃スキルが高く、材質に合わせた清掃器具や清掃剤を使用することで長寿命化にも寄与している。

日常清掃や定期清掃が基本となっており、ハウスクリーニング等の水回りの清掃も手掛けている。清掃剤は後述の商品等を使用し、コロナウイルス感染症等に対しても高い除菌力を発揮することが可能である。

当社の清掃サービス事業は抗菌力や除菌力を高める付加価値も提供しており、コロナ禍以降のニューノーマルに対応した事業となっており、ビルオフィスのような広面積なフロアから個人飲食店等の小規模店舗の清掃にも対応している。



企業清掃（床、ビル、オフィス等）



店舗清掃



施設内除菌作業（ニューノーマルへの対応）



ハウスクリーニング作業（エアコン・バス）

②消臭サービス事業

当社の消臭サービス事業は、前述の清掃サービス事業と同様に材質に合わせた清掃剤を選び、消臭に関するノウハウを駆使した作業により、長寿命化に寄与している。スポットでの受注が多く、長期間手入れがされていない物件においても対応し、消臭、抗菌コートを徹底する。

清掃サービスと同時に請け負うこともあり、清掃・消臭の両事業により、顧客に快適なオフィス利用、ビジネス活動を提供している。



トイレ消臭剤

トイレ消臭については、尿石取りや消臭剤設置による作業を実施する。コンパクトな消臭剤は外観を崩すことがなく、専門業者の特製品を使用しており、人工酵素による生物学的消臭方法により「においの存在」を消すことが特徴である。人工酵素消臭は、常温・常圧の下、光などがなくても高い消臭効果を発揮する為、機材・装置不要で低コストで消臭効果を発揮することが可能で、低コストでありながら、繊維、クロス、フィルム、接着剤、ゴム、紙、パルプ等のあらゆる材料に使用が

可能である為、きわめて応用範囲が広いことも特徴である。

また、強アルカリ電解水も導入し、高い洗浄力に加え、従来の洗剤と比較して安全性にも優れている清掃方法により、利用者や作業員の健康面に対する配慮も徹底している。

加えて、カーエアコンクリーニングにおいても独自の技術や製品を使った高い消臭効果を提供している。カーエアコンクリーニングに使用される消臭剤は、抗菌作用に加えて花粉やアレルゲンの発生を抑える効果もある為、一般的なカーエアコンクリーニングと比較しても、健康面における貢献度が高い。



カーエアコンクリーニング

当社は、清掃サービス事業と消臭サービス事業を今後も主要業種として位置づけ、拡大を目論んでおり、より多くのビル清掃メンテナンスを請け負うことで、当社のノウハウによるクリーンな職場環境を提供していきたいと考えている。

③模型販売事業（ヤシマホビー）

上述の清掃・消臭サービス事業に加え、当社は地域社会貢献の意義も含め、地元岡崎市において、模型（主にミニ四駆）販売・大型コース場を運営している。ヤシマホビーという独自の店舗・コース場を設置、岡崎市においては唯一の大型コース場であり、地元の若年層から大人まで幅広いユーザーが利用している。

また、定期的に大会を開催したり、ブログ等により情報発信することで、利用者拡大に努め、地域住民だけでなく、他県からの来場も増加している。

当社は、この事業が子どもたちやその親世代の交流の場となり、地域のつながり強化につながることに期待しており、実際に幅広い年齢層のコミュニティが形成されている。



ヤシマホビーのコース・商品

絆をつくる、明日へつなぐ。



大会の様子（コロナ禍以前）

3. その他の活動

当社は、SDGs宣言を実施している。宣言内容は、「お客様へのサービス」「主要業種における貢献」「職場環境の充実」「地域社会貢献」で構成されており、前述の社訓・経営理念と相関的に作用しており、役員だけでなく従業員一人一人に意識された行動規範となっている。



有限会社 ヤシマ SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2022年3月1日
有限会社ヤシマ 代表取締役 前田 英樹



SDGsの達成に向けた取組み



キレイにすることで社会に貢献する

「みてキレイ」だけでなく「空間をキレイ」にすることで、お客さまの生活や、職場環境を快適で清潔、健康的な空間へと創造します。高い技術で最適なビルメンテナンスの提供を通じて、都市やお客さまが保有される建物のライフサイクル最大化に貢献します。
【具体的な取組み】・トータルクリーニング提案
・除菌作業の提供



キレイを仕事にする会社だから出来る環境保護

キレイな環境を未来に残すため、社員全員が高い環境意識を持つ企業であり続けます。人にも環境にも安心で安全な洗浄液・溶剤、新しい技術を積極的に採用し、お客さまへの提案を通じて、環境保護に貢献します。
【具体的な取組み】・無害な電解水による清掃
・廃棄物の適切な分別と管理
・グリーン購入、グリーン調達推進



キレイに誰もが輝ける職場環境

性別や年齢に関係なく、誰もがキレイで、活躍できる職場環境を整備。お客さまより「ありがとう」を頂ける充実感や達成感を、社員全員が共有でき、動きがいが感じることが出来る職場であり続けます。
【具体的な取組み】・外部講習受講支援
・時差勤務等の働き方改革実施
・健康宣言の実施



これからも地域社会とともに

管理施設を利用する地域の方たちに安心安全快適な施設を提供し続けます。ミニ四駆ホビー事業を運営し、地域の子供たちと親子が集える場所や機会の提供を行い、地域に根差した活動を続けていきます。
【具体的な取組み】・地域住民が集う環境作りとしてミニ四駆サーキット場の提供
・事務所周辺清掃活動
・地域行事への協賛
・教育機関への寄付





「キレイにすることで社会に貢献します。」

上記SDGs宣言において、既に当社では取組を開始している。特に、トータルクリーニングや

除菌作業、無害な電解水の導入は徐々に拡大し、対象顧客も増加する見込みである。

また、地域貢献活動においても、サーキット場においてはコロナウイルス感染症対策を万全とし、イベントの開催を実施している。さらに、2022年9月には地元工業高校へ寄贈も実施し、地域教育機関への貢献活動も幅広く実施している。

上記活動に加え、当社は就労支援活動にも尽力しており身近なところから就労者として人材を登用している。代表者である前田社長は、今後は様々な人材が活躍し、ダイバーシティが更に発展していくべきであると考えており、当社の就労者支援はその未来ビジョンを具体化するものである。



贈呈式の様子

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデルにより有限会社ヤシマの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。有限会社ヤシマの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。有限会社ヤシマの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については有限会社ヤシマが直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に有限会社ヤシマの事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

インパクトカテゴリ	川上の事業		同社事業							
	【 2023 】		【 3811 】		【 4764 】		【 8121 】		【 8129 】	
	石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業		非有害廃棄物収集業		専門店によるゲーム及び玩具小売業		建物一般清掃業		その他の建物及び産業清掃業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）			★							
食料										
住居										
健康・衛生	★		★★		★		★		★	
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段										
情報										
文化・伝統			★		★		★			
人格と人の安全保障										
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★	★★							
大気		★		★						
土壌			★★	★★						
生物多様性と生態系サービス			★★							
資源効率・安全性		★	★	★						
気候		★		★						
廃棄物		★	★★	★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★					
経済収束										

川上、当社のインパクトは上記の通りである。経済におけるポジティブと、環境におけるネガティブが散見される。当社の事業において、川上の企業への能動的なアクションは当社の使用する清掃剤や消臭剤の選定による環境負荷軽減と健康への悪影響軽減によるネガティブ縮小が挙げられる。後述の当社の事業においても同様でありこれらの事業活動についてKPIを設定する。

当社事業におけるインパクト分布は環境面でのポジティブインパクトは下水処理等が中心となっている為、当社の領域からは外れる部分がある一方で健康・衛生におけるポジティブは当社の清掃・消臭サービス事業が大きく寄与するものと考えられる。

ネガティブインパクトは、環境面が目立つ。当社は前述の清掃剤等の選定において環境負荷軽減に取り組んでいくことでネガティブ縮小を試みる。

当社の将来ビジョンにおいては取引先拡大を想定しているが、当社の主要業種である清掃・消臭サービス事業の展開により、川下の顧客に対して衛生環境の向上を進めることでポジティブインパクトの拡大を図る。

※対応するSDGsのゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべきSDGsを赤色、取り組むべきであるが不十分なSDGsを黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した有限会社ヤシマのインパクトと対応するSDGsのゴール「3、6、11、12、13、14、15、17」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



④海外のインパクトニーズ

有限会社ヤシマにおける、海外のインパクトニーズについては川下の事業等における利用率や人口を基準として先進国における整合性を分析する。下記に示したのは、上記国々のSDGsインデックス&ダッシュボード2021を参照したものである。緑で配色されたゴール以外は、色が薄い順に「課題がある」、「重要な課題がある」、「多大な課題がある」となっている。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、それぞれの国々においても重要度が高いことが確認出来る。

※各国のインパクトニーズ



絆をつくる、明日へつなぐ。



Germany

OECD member



OVERVIEW INDICATORS POLICY EFFORTS



SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



Dashboards: ● SDG achieved ● Challenges remain ● Significant challenges remain ● Major challenges remain ● Information unavailable
Trends: ▲ On track or maintaining SDG achievement ▲ Moderately improving → Stagnating ↓ Decreasing ++ Trend information unavailable

France

OECD member



OVERVIEW INDICATORS POLICY EFFORTS



SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



Dashboards: ● SDG achieved ● Challenges remain ● Significant challenges remain ● Major challenges remain ● Information unavailable
Trends: ▲ On track or maintaining SDG achievement ▲ Moderately improving → Stagnating ↓ Decreasing ++ Trend information unavailable

5. 測定するKPI

①自社の清掃ノウハウの拡大による健康・衛生環境の改善、職場環境の向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面・経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	    
対応方針	清掃・消臭サービス事業の拡大によるクリーンな職場環境の提供
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年度決算までに清掃・消臭サービス事業の年間売上高を2.5億円以上にする（実績開示） ・2027年度決算までに清掃・消臭サービス事業の年間取引顧客数を30以上にする（実績開示）

②地域の憩いの場提供による活性化（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「文化・伝統」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	地域社会に対する憩いの場を提供、幅広い年齢層のコミュニティ形成
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤシマホビーによるコース場を提供を継続する（取組開示） ・定期的な大会開催やイベント開催により地域社会とコミュニティの活性化を図る（取組開示）

③環境への影響の配慮（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
関連するSDGs	    
対応方針	サーキュラーエコノミー・カーボンニュートラル実現に向けた積極的な取組み
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年度決算期までに社用車を順次電動車両（ハイブリッド含む）に切り替える（実績開示） ・無害な電解水による清掃実績を2027年度決算期までに2022年度対比で2倍にする（実績開示）

6. インパクトの管理体制

有限会社ヤシマは前田社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策が前田社長及び従業員が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、前田社長が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 前田 英樹
-------	-------------

7. モニタリング方法

有限会社ヤシマに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

有限会社ヤシマの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。有限会社ヤシマが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。